

平成 30 年度第 1 回北海道アザラシ管理検討会開催概要

【日 時】平成 30 年 10 月 19 日(金)14:00～15:00

【場 所】礼文町役場船泊支所 会議室

【出席者】検討会構成員（小林教授、山村教授、宮内教授、後藤主査、大石組合長）、オブザーバ（田口環境省地方事務所課長）、金城研究員、事務局（鹿野主幹、橋場主査）

■ ゴマフアザラシの夏期の確認個体数について

平成 30 年 3 月 26 日に開催した平成 29 年度北海道アザラシ管理検討会で、「ここ数年、目視状況や地元の漁業関係者の見解では、個体数の低下が示されている中、軽減効果を確認するに当たり、平成 25 年（2013 年）の観測結果よりも個体数が増加するという齟齬が生じており比較の対象を検討する必要があるのではないか」という意見を踏まえ、ゴマフアザラシの夏期の確認個体数の集計方法の見直しや個体数の増減を比較することについて検討を行った。

【主な意見】

・ 抜海の夏期個体数は、冬期北海道回遊群来遊の早期化により 10 月下旬に来遊が開始されていることから過剰にカウントされており、これらを考慮し、10 月下旬以降の来遊個体は冬期個体数にカウントした方が良いのではないかと。

・ トド島のゴマフアザラシ確認個体数は、平成 27 年以降、定点カメラ（1 時間毎に撮影）を設置しているため、全て目視でカウントしていた平成 25 年より調査努力量が多く、さらに画像解析により見落とし率も減少するなど調査精度が上がり、個体数の増減傾向を比較する基準には適さないことから、定点カメラによる調査を開始した平成 27 年（2015 年）の個体数を基準とし、平成 25 年（2013 年）の調査結果については、説明を加えた上で「参考値」として残してはどうか。